

発行 福岡県田川市 編集 総務部市長公室  
 電話 0947-442000 FAX 0947-460124  
 住所 〒825-8501 田川市中央町1番1号  
<http://www.john.tagawa.fukuoka.jp/>

「広報たがわ」に掲載された人には写真を差し上げます  
 「広報たがわ」の無断転載を禁じます



# WATARIDORI ~渡り鳥~ [拡大版] 国際交流員の活躍

本市に国際交流員のアネマリー・グンツェルさんが着任して1年。市内外を駆けまわり、海外へ飛びながら、田川を世界とつないでいます。ここでは、今後の世界を担う世代に異文化を伝える取り組みを紹介します。



▲スポーツ庁の鈴木大地長官と握手を交わすアネマリーさん



▲市役所内の掲示板にポスターを貼ってドイツ語を紹介

アネマリーさんは、5月11日と7月10日に福岡県立大学で特別講義を開きました。【写真①②】これは、大学生の異文化への関心を高めようと、同大学と市が企画した取り組みで、公共社会学科と社会福祉学科の1年生と3年生約155人が参加しました。講義では、ドイツの文化などを紹介したほか、国際交流員から見た田川の現状と課題など、田川の今後を見据えたリアルなテーマが取り上げられました。大学でドイツ語の授業を選択している北村春翔さんは「国際交流に興味がありました。アネマリーさんのように活躍する素敵な人になりたい」と抱負を語りました。

6月29日には、猪位金学園を訪問。5年生～9年生136人にドイツの食文化を伝えました。【写真③】

この日のメニューは「ジャーマンポテト」。「ドイツの食べ物といえば?」というアネマリーさんの問いかけに、子どもたちは「じゃがいも!」と元気な声で返しました。ドイツでは「ジャーマンポテト」という呼び方をしないこと、同じ料理でも国によって味や見た目が違うことなど、文化の違いに子どもたちは驚いていました。その後、ドイツ語で「Guten Appetit! (どうぞ召し上がれ)」と唱和し、楽しい給食の時間を過ごしました。5年生の鶴田奈々さんは「ドイツの話をたくさん聞けたし、アネマリーさんと一緒に食べることができて楽しかった」と笑顔で話しました。

11月3日(土)・4日(日)に開催される「TAGAWAコールマイン・フェスティバル」で、ドイツの文化を紹介します。また、11月～12月は、市内でランタンを飾るドイツの伝統行事やドイツ式のクリスマスイベントを実施するなど、季節の催しが盛りだくさん。みなさんと会える日を楽しみにしています。



UD FONT by MORISAWA ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。

印刷 (有) 川崎印刷 「広報たがわ」は再生紙を使用しています